

令和7年度第3回富谷市地域公共交通会議 会議録

開催月日	令和7年10月24日（金）												
開催時刻	10時00分			閉会時刻		11時00分							
開催場所	富谷市役所3階 305会議室												
議 事	(1) とみや公共ライドシェア実証運行（案）について (2) 市民バス運行計画（案）について												
出席の状況（○出席者・×欠席者）													
1	若生 裕俊	○	2	鈴木 俊介	○	3	多田 康則	×					
4	中村 力	○	5	岡野 雅昭	○	6	佐藤 政悦	○					
7	佐藤 新次	×	8	門間 とも子	○	9	郷古 直子	○					
10	中鉢 勝利	○	11	関澤 京子	○	12	阿部 政勝	○					
13	佐藤 雅之	○	14	高橋 隆美	○	15	西川 和宏	○					
16	菅原 祐紀	○	17	遠藤 秀一	○	18	田中 浩司	○					
19	草野 昭徳	○											
【代理出席】													
大和町まちづくり政策課 係長 菅野 諭志													

議事内容	
1. 開会	(10:00)
2. 市長あいさつ	(10:31~10:35)
3. 議事	(10:35~) 議長：市長
	(1) とみや公共ライドシェア実証運行（案）について [事務局から説明]
	(2) 市民バス運行計画（案）について [事務局から説明]
5. 閉会	(11:00)

記録：企画政策課交通政策推進室

令和7年度第3回富谷市地域公共交通会議

日時：令和7年10月24日（金）10:00～11:00

■質疑応答

委員等名	内 容（要約）
(1) とみや公共ライドシェア実証運行（案）について	
大和警察署 西川委員	・資料5ページの車両表示について、どのようなものを想定しているか。
事務局 吉田室長	・車両の側面に「とみや公共ライドシェア」と明確に分かるマグネットを貼付する予定。道路運送規則に定められる規格に応じて作成し表示する。
宮城運輸支局 関澤委員	・運行管理体制について1点確認したい。今回募集をかけて使用する車両は4両で、現在も継続して募集していることだが、車両数が5両以上になると運行管理責任者に資格が必要となるため、最終的な車両数を確認したい。 ・また、日野自動車が運行管理責任者として適切かどうかについては審査の段階でも確認する予定だが、体調確認やアルコールチェック等の点呼を遠隔で行う中で不備があった場合、日野自動車がどのように責任を負うのか、また不備が確認された際に運行中止の判断を行うのかについて確認したい。
事務局 吉田室長	・具体的な指示については今後詳細に検討する必要がある部分ではあるが、不備があった際には当然に運行中止を判断する必要があるものと認識している。日野自動車については、他自治体においても運行管理を行ってきた実績があり、ノウハウを有している事業者であることから、運行管理を委託する予定である。なお、運輸局への申請までに、確認は念入りに行っていく。
バス協会 岡野委員	・運賃設定について質問したい。180mごとに50円とあるが、これは具体的にはタクシーメーターのような機器を車内に設置するということでしょうか。
事務局 吉田室長	・アプリの活用により、利用者には事前に起点・終点をご入力いただき概算金額が算出される。乗車いただいて最後降車した際に金額が確定するため、タクシーのメーターのような機器の利用はしない運用となっている。
宮城交通 鈴木委員	・15ページと16ページについて、乗降ポイントは市内全域において完全フリーということでおろしいか。
事務局 吉田室長	・利用者の利便性と、分かりやすさを鑑みて乗降場所を設置しております。ほぼ全域をカバーするものとして、ドアツードアの形をとれるようにしている。
	～次ページに続く～

委員等名	内 容 (要約)
(1) とみや公共ライドシェア実証運行（案）について	
宮城交通 鈴木委員	<p>・バスやタクシーとのすみ分けを考えるのであれば、乗降ポイントをあらかじめ定め、中間地点を狙うといったやり方もあったのではないかと思う。安全面については講習を行うとはいえ、不慣れな市民ドライバーが指定された乗降場所でどのような挙動を取るのか、運転する立場としては不安が大きい。どこで停車するのか、場合によってはバス停で停車してしまう可能性があるといった懸念もあるため、運用上のルールだけでなく、システム上もそのような行動ができない仕組みにしてほしい。資料 15 ページに記載されているような場所をアプリ上で選択しやすくし、安全な場所で乗降できるような設定とすることを求める。</p> <p>・今回のライドシェア全般について、すでに国庫補助が決定し、業務委託が発注され、ドライバーの募集や申請書類の手続きもほぼ進んでいる中で、本会議の議案として上がってきたこのプロセスには残念な思いがある。今後は運行ありきではなく、市内全体の交通ネットワークをどう構築していくのかという視点で、プロセスを見直し協議していく必要があると考える。そもそも、なぜライドシェアの実証を行うのかという点については疑問が残っている。市内では路線バスが 23 時まで運行しており、タクシーも運行している中で、なぜここまでライドシェアにリソースを割くのか、路線バスやタクシーのサービス改善に注力するという選択肢もあったのではないかと思う。路線バスについても、事業者の自助努力だけでは維持が難しい状況にある。今月もダイヤ改正を行い、仙台市内の一部路線を廃止するなど、利用者に不便をかけている現状がある。今後は富谷市と共同で、路線バスを含めた公共交通ネットワークの持続可能性を高める施策に取り組んでいきたい。</p>
事務局 吉田室長	<p>・実証運行に向けたプロセスとして、初めての取組であったこともあり至らない部分が多くあり大変ご迷惑をおかけした。市民の方から寄せられる要望を何とか救うためにも実証運行を行い検証し、皆様のご理解とご協力をいただきながら取り組んでまいりたい。バス停付近での乗降等、安全性については大型店の広い駐車場で乗降できることを加味した上で乗降場所を示している。システム上の仕分けとしてはパブリックテクノロジーズと協議中であるためシステム開発と調整させていただきたい。</p>
議長 富谷市長	<p>・連日、熊の事案が発生している。社会状況としても不安な状況であることをご理解いただき、利用のしやすさを重視し進めてまいりたい。何卒ご理解いただきようお願い申し上げたい。</p>
	～次ページに続く～

委員等名	内 容 (要約)
(1) とみや公共ライドシェア実証運行（案）について	
東北運輸支局 関澤委員	<ul style="list-style-type: none"> 今回の実証期間は、令和7年11月26日から12月25日までのおよそ1か月間となっている。今後、改めて本格運行を行う予定があるのであれば、そのスケジュール感を確認したい。また、今回の実証結果をどのように評価し、本格運行へ移行する際にどのような基準を設ける考えなのかについても確認したい。 ここからは意見である。先ほど事務局からは、市民の声としてライドシェアの実証を行いたいという思いがある一方で、公共交通の事業者もいるためその影響を確認したいという説明があった。評価にあたっては、利用者アンケートのような主観的な意見だけでなく、利用実績や実証期間中のタクシー配車要請件数など、客観的な数値も用いてほしい。こうした客観的データをもとに、公共交通事業者と市が今後の公共交通のあり方について協議しながら検討してもらえばと思う。
事務局 吉田室長	<ul style="list-style-type: none"> 今回の実証では利用人数、利用した方のご意見をいただき、各町内会におけるご意見等を伺いたい。今後の交通会議についてお示ししてまいりたい。客観的なデータの取得について、詳細のデータをどのように収集していくかについてはシステム開発側とも検討してまいりたい。
社会福祉協議会 草野会長	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の利用が多く割合を占めるかと思う。決裁方法についてぜひ現金払いを導入していただきたい。
事務局 吉田室長	<ul style="list-style-type: none"> 現金を取り扱うことによるトラブルやリスクを防ぐため、現金での支払いはできない運用としている。実際の利用者から意見があった場合には、継続運行を検討する際の参考にしてまいりたい。
	(その他質疑・意見無し)
議長 富谷市長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、第1号議案については、原案のとおり協議が整ったものとし、11月からの実証運行に向けて準備を進めてまいりたい。
(2) 市民バス運行計画（案）について	
鷹乃杜町内会 門間委員	<ul style="list-style-type: none"> 本日も市民バスを利用して本会議に参加した。路線によっては常に遅れるものがあるが、今回、循環線から分割して考えられた路線は有難い。循環線ではほとんど乗客がいない状況でも走り続けることになってしまふため、最短の路線とすることで効率的な運行につながるのではないかと思う。イオン富谷店での乗り継ぎをよく利用しており、身近な人の中には泉区の循環バスを利用する人も多い。運行回数が増えることで泉中央への接続もより便利になるのではないかと考えている。
	(その他質疑・意見無し)
議長 富谷市長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、第2号議案について、原案のとおり協議が整ったものとし、来年4月からの再編に向けて準備を進めてまいりたい。